

# 一般社団法人日本顎関節学会 2024 年度事業報告書

## I. 目的（定款第3条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

## II. 学術大会の開催に関する事業（定款第3条1項）

### 1. 第37回学術大会

- 1) 会期：2024年7月13日（土）～14日（日）
- 2) 形式：あわぎんホール（徳島）
- 3) 大会長：松香芳三（徳島大学大学院医歯薬学研究部 顎機能咬合再建学分野 教授）
- 4) 参加者：601名（会員467名、準16名、非会員57名、医療スタッフ10名、学生2名、名誉会員11名、企業関連37名）
- 5) メインテーマ：「繋ぐ ～世代・専門分野を超えて」
- 6) 演題：
  - ①企画演題  
特別講演 2 題  
教育講演 1 題  
シンポジウム 5 題  
日本顎関節外科研究会共催シンポジウム  
若手部会シンポジウム  
歯科衛生士シンポジウム  
臨床医の会シンポジウム  
日本口腔顔面痛学会合同シンポジウム  
覚道健治賞受賞講演  
アジア顎関節学会報告会  
ハンズオンセミナー1, 2  
ランチョンセミナー1, 2  
ランチタイムセミナー
  - ②一般演題  
一般口演 11 題  
ポスター 62 題

※プログラム詳細は別紙

### Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

#### 1. 第60回学術講演会

開催日：2024年10月20日（日） 開催形式：web開催（zoom）

「顎関節症の検査、診断と治療の現在 -若手部会はこう考える-」

パート1：顎関節症の臨床検査と診断

講師：村岡 渡（川崎市立井田病院歯科口腔外科）

パート2：顎関節疾患の画像診断

講師：松本 邦史（日本大学歯学部歯科放射線学）

パート3：咀嚼筋痛障害、顎関節痛障害治療の実際とそのエビデンス

講師：臼田 頌（慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科）

パート4：顎関節円板障害治療の実際とそのエビデンス

講師：高原 楠旻（東京医科歯科大学歯学部顎顔面外科）

パート5：変形性顎関節症の診断および治療について

講師：高岡 亮太（大阪大学大学院歯学研究科歯科補綴学）参加者数：160名

参加者数：116名（会員113名、研修医2名、非会員1名）

#### 2. 第61回学術講演会

開催日：2025年3月23日（日） 開催形式：web開催（zoom）

「咀嚼筋の障害に対するボツリヌス治療を考える」

パート1：咀嚼筋の障害の総論～顎関節症に対するボツリヌス治療を考えるその前に～

講師：村岡 渡（川崎市立井田病院歯科口腔外科）

パート2：口腔顔面部疾患に対するボツリヌス治療～文献的考察をメインに～

講師：松香芳三（徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野）

パート3：開業医におけるボツリヌス治療の取り組み

講師：塚原宏泰（塚原デンタルクリニック）

パート4：歯科臨床でみられる運動障害とボツリヌス療法の基礎的メカニズム

講師：小川 徹（東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野）

パート5：顎口腔領域の不随意運動に対するボツリヌス毒素の臨床応用

講師：吉田和也（京都医療センター 歯科口腔外科）

参加者数：252名（会員223名、研修医11名、非会員18名）

### Ⅳ. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

●日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）

第36巻2号（2024年8月発行）

第36巻特別号（第37回学術大会号）（2024年6月発行）

第36巻3号（2024年12月発行）

第37巻1号（2025年4月発行）

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology (JOMSMP)

### Ⅴ. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業（定款第3条4項）

#### 【新規認定】

##### <専門医および指導医>

2024年指導医、専門医試験を実施。

2024年10月6日（日）ステーションコンファレンス東京

10：00～11：00＝記述試験、12：05～12：35＝口頭試問

指導医1名、専門医2名を新たに認定。

### <暫定指導医>

2024年暫定指導医講習会／試験を実施。（※認定医講習会／試験も同時に実施。）

2024年10月6日（日）ステーションコンファレンス東京

10：30～14：55＝講習会、15：05～16：35＝記述試験

受験者6名中1名を合格、4名を学術講演会受講1回の条件付き合格、1名を学術講演会受講2回の条件付き合格とした。

合格者1名、また条件付き合格（学術講演会受講1回）の内、条件達成者2名を暫定指導医として新たに認定。

### <認定医>

計6名の新規申請者において、全員が研修機関に所属することから、書類審査のみの実施となり、全6名を本会認定医として新たに認定した。

### <研修機関>

計4施設の申請があり、研修施設3施設、研修補助施設1施設を研修機関として認定した。

## 【更新認定】

2024年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

### <対象者および結果>

- 専門医および指導医の両資格：19名中18名の更新を承認。1名は保留。
- 指導医：5名中4名の更新を承認。1名は更新しない。
- 専門医：33名中25名の更新を承認。2名は保留。6名は更新しない。
- 暫定指導医：1名中1名の更新を承認。
- 研修機関：9施設中5施設の更新を承認。1施設は保留。3施設は更新しない。
- 認定医：19名中13名の更新を承認。5名は保留。1名は更新しない。

## 【認定医／暫定指導医】

2024年10月6日（日）ステーションコンファレンス東京

10：30～11：00 顎関節の臨床解剖（解剖・口腔外科） 講師：儀武啓幸

11：05～11：50 顎関節の画像診断（歯科放射線科） 講師：五十嵐千浪

13：00～13：45 DC/TMDに準拠した顎関節症の診察（補綴）講師：小見山 道

13：50～14：40 初期診療ガイドライン（補綴：スプリント療法、開口練習）講師：佐久間重光

14：45～14：55 制度説明 講師：栗田 浩

15：05～16：35 試験

暫定指導医は上述のとおり。

認定医は27名が受講／受験し、8名を合格、12名を条件付き（学術講演会受講1回）、7名を条件付き合格（学術講演会2回）と判定した。

## 【認定歯科衛生士講習会】

2025年4月13日（日）にzoom形式で実施した。

（本講習会は、認定歯科衛生士資格を申請する上で受講が必須。）

10：30～11：00 顎関節症の基本知識 講師 島田 淳

10：35～11：05 顎関節症の診察と診断 講師 澁谷 智明

11：10～11：40 顎関節症の治療 講師 川上 哲司

11：45～12：15 顎関節症のチームアプローチ 講師 佐藤文明

24名が受講した。

（新規申請に係る書類審査や試験は、2025年度に実施する）

## VI. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業（定款第3条6項）

- 日本顎関節学会総会・学術大会
- 学術講演会
- 顎関節症患者のための初期治療診療ガイドラインの制定
- 認定歯科顎関節症専門医、指導医、認定医、認定歯科衛生士制度の運用
- 学会賞の選考

## VII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究（定款第3条7項）

- 超高齢者施設における顎関節障害とオーラルフレイル・フレイルとの関連についての疫学調査
- 日本国民ならびに医師・歯科医師における顎関節症専門医の必要性に関するアンケート調査
- 全国レベルでの顎関節症症状保有率に関するアンケート調査
- 日本における顎関節症の画像診断の信頼性の検証

## VIII. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流（定款第3条8項）

- 大韓顎関節協会
- アジア顎関節学会

## IX. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業（定款第3条9項）

- 顎関節症初期治療診療ガイドライン 2023 改訂版の公開
- 学術大会の運営

## X. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条10項）

- 令和6年度学会賞特別賞
  - 1) 木野孔司（木野顎関節研究所 所長）
  - 2) 和気裕之（みどり小児歯科 院長）
- 令和6年度学術奨励賞・覚道健治賞（最優秀賞）

受賞者名：水口 一（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野）

受賞論文名：超高齢者における顎関節症症状とオーラルフレイル・フレイルとの関連
- 令和6年度学術奨励賞・優秀賞

受賞者名：柴田紀幸（岩倉しばた歯科・矯正歯科）

受賞論文名：顎関節 X 線画像における下顎頭移動量の計測精度  
-下顎頭運動表現モデルを用いた検討-

## XI. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条11項）